

# 営業配電総合オンラインシステムについて

情報システム部  
営業部  
配電部

## 1 概要

当社では、今回営業・配電両部門の需要家関連システムを一体化した「営業・配電総合オンラインシステム」を開発した。

当システムは、①需要家および設備情報の営業・配電間一元管理と综合利用などによる需要家サービス体制の改善と業務の効率化 ②オンライン・リアルタイム処理の機能活用による業務の効率化と精度向上などを目的として開発されたのであり、営業窓口受付から配電設計工事管理まで一貫処理していることが大きな特長である。

56年10月から一宮営業所管内で試行運用してきたが、所期の成果をあげる見通しがついたので、全社拡大をはかることとした。

なお、他電力における営業・配電オンライン実施状況は表1のとおりである。

以下これらの内容を紹介する。

## 2 システムの内容

当システムは、現在、配電部門がバッチ方式で実施している低圧配電線・電力量計管理および停電周知、停電割引の各システムにオンライン・リアルタイム処理方式を導入し、先に実施している営業オンラインシステムと統合したもので、低圧および高圧（500kW未満）の需要家管理および柱上変圧器以下の配電設備の運用管理を行うシステムである。

システムの内容を第1図に示したが、営業部門が管理する需要家の氏名や契約内容などの需要家情報と配電部門が管理する柱上変圧器や低圧線などの設備情報を電算機内のデータ・ベースに収録し、これを両部門が共用することを前提としている。また、システムは、①各営業所に設置された端末機（ディスプレイとプリンター）を使用して即時に情報の検索・異動を行う「リアル処理」と②リアル処理終了後一括して処理する「業後バッチ処理」とで構成されている。

### (1) リアル処理

営業・配電両部門にまたがる需要申込みの受付から供給可否の検討、低圧設備設計、工事しゅん工までの各業務を一貫して即時に処理するほか、全廃・全撤申込み時の電気料金日割計算、緊急を要する停電周知ハガキの作成、同調設計・同調工事を行うための伝票検索などの多種多様な業務を処理する。

### (2) 業後バッチ処理

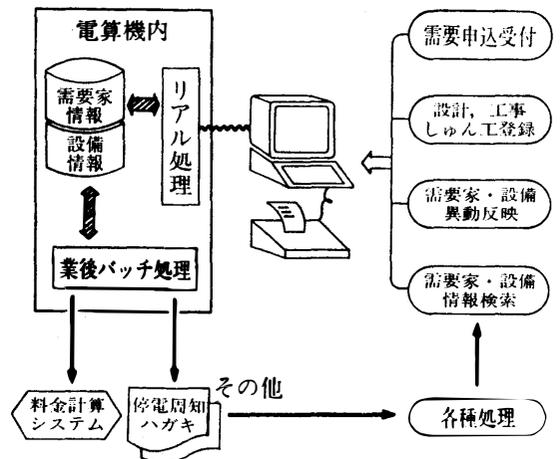
主として端末機から入力された情報を元に、電算機内に収録されている情報の更新や料金異動情報の料金システムへの連結を行うほか、緊急を要

表1 他電力における営業配電オンライン実施状況

拡大営業所等は56年8月現在

	営業オンライン(注)	配電オンライン	今後の計画
北海道	全社拡大中(札幌他12営業所)	工事管理主体で全社拡大中	業務拡大、営業システムの総合化
東北	全社拡大完了	工事管理、設備検索主体で総轄営業所拡大完了	システムの総合化
東京	営業料金総合オンラインとして全社拡大中(18支社、9支店)	設備検索、工事管理主体のモデルシステム実施中(2支社)	新配電オンラインの検討
北陸	営業総合システムとして拡大完了	—	—
関西	全社拡大中(28営業所、1サービスセンター)	工事管理、設備検索主体で工程管理を除き全社拡大中	—
中国	全社拡大完了	設備、工事情報検索主体で全社拡大中	業務の拡大
四国	4県都の営業所で実施中	供給検討、設備管理等を実施中	システムの総合化の検討
九州	—	配電工事設計システムとして試行中(2営業所)	営業オンラインの開発

(注) 料金関係を除き実施範囲はほぼ同じである。



第1図 システムの概念図

しない停電周知ハガキの作成、各種工事票や管理資料の作成などを行う。

## 3 あとがき

全社拡大は、57年8月の南営業所を皮切りとして、59年7月までに完了する予定である。

(営業システムG, システム開発G, 管理G)